

スポーツで、 人が輝く まちを。

網走では、老若男女を問わず、ウォーキングやジョギングを楽しむ市民の姿を目にします。オリンピックやワールドカップの選手などもそうです。世界の舞台で闘うアスリートたちが、強化トレーニングの合宿地として選ぶ網走には、恵まれた練習環境はもちろん、健やかな体をつくるためのおいしい食や心を癒やす自然環境など、スポーツコンディショニングに最適な環境があります。

網走市は、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会のホストタウンとして第1次登録自治体に名を連ね、参加国の選手と地域との交流を広げる役割を担っています。オリンピックやパラリンピアンとのふれあいを通して、各国のさまざまな文化や価値観を学び、日本や網走のすばらしさを再認識する機会になるでしょう。

網走市が進めるスポーツによるまちづくりは、平成29年4月開校の日本体育大学附属高等支援学校の考え方にも表れています。

障がい者スポーツで輝く人材を地域ぐるみで育てることは、心のバリアフリーを実現することにつながります。障がい者や高齢者がのびのびと暮らせるまちは、誰にとっても、安心して暮らせるまちであるはずです。

網走市が見つけているのは、2020年よりも、もっと先の未来。人が健やかに輝くまちを、スポーツで育んでいきます。



ラグビー男子セブンス日本代表



関西実業団連合



タグラグビースクール



バイアスロン日本代表



ホクレンディスタンスチャレンジ網走大会



サッカーU-13エリートプログラム



車いすレーサーチーム



Sports

A popular destination for training camps in rugby, soccer and other sports, Abashiri has hosted numerous world-class athletes. The city has also registered with the government of Japan to serve as a Host Town for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games to welcome delegations for pre-Games cultural and sporting events. In the spring of 2017, the High School for Special Needs Education at Nippon Sport Science University was opened for boys with intellectual disabilities. It is Japan's first special needs high school that offers a sports-centered curriculum.